

3. 活力ある産業 ①農業の振興

評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一		
令和4年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成や確保に向けた取組として、農業大学校のPRや人農地プランの推進による担い手への農地集積の拡大のほか、補助事業など各種支援を図ります。 ・獣害に強いとされる薬用作物の栽培実証などを進め、持続可能な農業の実現をめざします。 ・鳥獣による農作物被害額は年々減少傾向ではありますがいまだ被害は続いているため、猟友会の協力のもと有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、防護柵設置の支援など獣害対策に取り組めます。 			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積について、農地中間管理機構を活用した取組などにより集積率はアップしましたが、担い手の減少などで目標達成には至りませんでした。 ・薬用作物(ミシマサイコ)の実証栽培で少量ですが発芽に成功しました。また、研修会を開催し栽培技術の向上と薬用作物の周知を図りました。 ・猟友会の協力を得て有害鳥獣の捕獲に取り組むとともに、防護柵設置への支援などを行い、農作物被害額の減少につなげることができました。 			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・農地集積を進めるため、基盤整備を推進するとともに、中心経営体の規模拡大と効率的な営農につながる機械導入補助などの支援を図ります。 ・薬用作物(ミシマサイコ)の栽培実証で収穫までの成果を出すとともに、生産者の拡大と作物栽培の普及に向け取り組みます。 ・有害鳥獣の捕獲や防護柵設置の支援のほか、農作物の被害状況に応じた集落単位の対策を県の協力のもと実施し、野生鳥獣による農作物被害の軽減を図ります。 			

評価者	農業委員会事務局長 北村 充		
令和4年度 実行宣言			
<p>タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に活用してもらい、農地利用の最適化を効率的に推進していきます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆	
<p>国からのタブレット端末納入が予定より大幅に遅れたため、各農地利用最適化推進委員への配布や操作研修を行うことができませんでした。そのため、例年どおり印刷した紙媒体の地図等を使っての農地利用最適化推進活動となりましたが、予定していた市内各地区において活動を実施することができました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に活用してもらうことで、農地利用の最適化をこれまで以上に効率的に推進していきます。</p>			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	51.0 %	54.0 %	57.0 %	60.0 %	
	実績	48.1 %	50.8 %	52.6 %	53.9 %	—	
	評価	—	A	B	C	—	
	今後の方針	担い手の規模拡大に向けた関連事業を行い、農地の集積を推進します。					
数値目標 ②	項目	実質化された人・農地プラン地区数				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	105 地区	110 地区	115 地区	120 地区	
	実績	100 地区	104 地区	112 地区	114 地区	—	
	評価	—	B	S	A	—	
	今後の方針	制度改正により令和4年度で人・農地プランが廃止となったため、今後は各事業ごとに地域農業の将来を見据えた計画作成を推進します。					
数値目標 ③	項目	野生鳥獣による農作物被害額の半数を占めるイノシシによる稲の被害額				目標種別	↓
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	6,476 千円	6,310 千円	6,144 千円	5,978 千円	
	実績	6,643 千円	3,330 千円	2,497 千円	1,405 千円	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	猟友会の協力のもと有害鳥獣の捕獲による被害の軽減を図ります。					

関係所属	
農水振興課、農村整備課、農業委員会事務局	

3. 活力ある産業 ②林業の振興

評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一		
令和4年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス活用において、林地残材の有効活用をさらに推進するため、「森林活プロジェクト」の周知等を図ります。 ・木造住宅建築促進事業において、地域材の構造材に占める割合を90%から80%に緩和するとともに、交付対象枠を建築主のほか市外の工務店と建築士を含め、県内外に広くPRを行い、地域材の需要拡大を図ります。(目標100棟) ・新たに間伐などの森林整備から生まれたCO2吸収量を、国が認証するJ-クレジット制度で活用し、カーボンニュートラルの実現に取り組みます。 			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・未利用間伐材の木質バイオマス活用については、ウッドショックによる並材価格の上昇により市場への出荷量が増え、チップ材の利用が減少したことから目標に達しませんでした。 ・松阪の木を使用した住宅建築の支援棟数は83棟(目標100棟)で、前年度の16棟から大幅に増加したものの、市外の建築主への訴求力が弱かったことから目標を達成することはできませんでした。 ・J-クレジット制度の登録手続を進め、令和4年度から令和11年度までの8年間で約2万6千トンのCO2吸収量を創出する計画「松阪市未来につなぐ森林管理プロジェクト」の認定を受けることができました。 			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」や木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などを図ります。 ・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、支援対象に市外の建築主を加え、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標110棟) ・昨年度認定登録されたJ-クレジット制度について、クレジットの交付にかかる森林の現地調査等の審査に望みます。 			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	間伐による森林整備面積(累計)				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	1,300 ha	2,000 ha	2,700 ha	3,400 ha	
	実績	588 ha	1,365 ha	2,013 ha	2,958 ha	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	未整備森林の公益的機能を発揮できるよう、意向調査に基づく整備面積の確保に努めます。					
数値目標 ②	項目	未利用間伐材の木質バイオマス活用				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	22,000 t	23,000 t	24,000 t	25,000 t	
	実績	21,730 t	23,800 t	9,219 t	8,139 t	—	
	評価	—	S	E	E	—	
	今後の方針	林地残材の有効活用に向け、「緑の再生事業補助金」を活用して素材生産量の増加を図るとともに、引き続き「森林活プロジェクト」の周知等を推進します。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	主伐による木材生産量				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	25,000 m ³	27,000 m ³	29,000 m ³	31,000 m ³	
	実績	24,880 m ³	24,988 m ³	28,982 m ³	29,415 m ³	—	
	評価	—	A	S	S	—	
	今後の方針	架線集材と経営計画の樹立が円滑に行えるよう支援を進めます。					

関係所属
林業振興課

3. 活力ある産業 ③水産業の振興

評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一		
令和4年度 実行宣言			
<p>ガザミ(ワタリガニ)の放流量を増やすとともに、アサリなどの保護増殖を図り、継続的な支援による水産資源の回復に努めます。また、航路等の浚渫による漁港施設の整備を進めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>ガザミは、潮流に乗って長距離を移動する習性があり、水揚げの増減が著しい種類に分類されることから、計画的な水揚げ量の確保が難しい状況にあります。増殖事業により資源量の増大は確認されていることから、引き続き種苗の放流を行っていきます。また、他の水産資源(ヒラメ)を追加放流するとともに、かぶせ網により貝類の水産資源の保護を行い漁獲量の回復に努めました。ハード面では、猟師漁港の航路・泊地の浚渫を実施し、安心して漁業が営まれるよう努めました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>水産資源の増殖に向けた支援を継続して行うとともに、三重県水産研究所と連携し、覆砂などの資源保護に向けた取組を進め、漁獲量の増加をめざします。また、漁港施設の長寿命化に向けた整備を計画的に進めます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	総水揚金額				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	平成元年度(基準) (平成30年度 水揚金額)	令和2年度 (令和元年度 水揚金額)	令和3年度 (令和2年度 水揚金額)	令和4年度 (令和3年度 水揚金額)	令和5年度(目標) (令和4年度 水揚金額)	
	目標	—	425,000 千円	430,000 千円	435,000 千円	440,000 千円	
	実績	419,690 千円	421,020 千円	488,832 千円	448,025 千円	—	
	評価	—	E	S	S	—	
	今後の方針	漁場環境の改善と水産資源保護への支援を行い、漁獲量の回復を図ります。					
数値目標 ②	項目	ガザミ放流による漁獲量の増加				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	4 t	7 t	9 t	10 t	
	実績	3 t	4 t	6 t	7 t	—	
	評価	—	S	B	C	—	
	今後の方針	ガザミ放流を継続的に行うことで、漁獲量の増加をめざします。					

関係課
農水振興課

3. 活力ある産業 ④商工業の振興

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和4年度 実行宣言			
<p>市内中小企業・小規模事業者に対する経営基盤の強化支援を充実させるとともに、アフターコロナを見据えた新規創業・担い手発掘・女性企業家支援のための環境整備や人的ネットワークの構築を進め、地域経済回復の基盤づくりに努めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>商工業振興においては、創業支援として店舗改装費補助での創業枠新設、女性起業家支援での新規創業者への環境整備、担い手発掘など新たに取り組みました。また、新型コロナの影響を受けた小売店舗対策として、生活者支援も併せた「商品券事業」「キャッシュレス還元事業」も継続して実施し、販売率は昨年度を上回りました。</p> <p>数値目標としている「相談支援から創業につながった人数」は前年度より微増、「中心市街地営業店舗数」は微減に留まり、それぞれ減少傾向に歯止めがかかるなど地域経済回復の基盤づくりに一定の効果があったと思われます。</p> <p>一方「産業支援センターへの相談件数」は基準年である令和元年度の数値を割るほどの落ち込みとなりました。これは新型コロナ関連の事業者への支援が終了したことが大きく影響しており、今後、ポストコロナに向けて新たな事業展開や、事業者に対し魅力ある情報発信等の対応の必要性を強く感じました。全体としては概ね目標としていた事業展開ができたことから星3つの評価としました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>市内中小企業・小規模事業者に対し、ポストコロナやDXなど社会の変化に対応できるよう産業支援センターの機能を強化し、事業所がかかる経営課題や事業成長課題などの解決のための効果的な事業を展開するとともに、創業支援として女性起業家支援を充実させ、意欲ある女性の新たな活力を引き出します。また、中心市街地商店街や市内の小売業者などの景気回復のため、みえ松阪マラソンも含めた効果的な公民連携の手法を探ります。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	相談支援から創業につながった人数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	27 人	28 人	29 人	30 人	
	実績	26 人	22 人	18 人	20 人	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	店舗改装費補助金の創業枠の継続や女性起業家支援などにより創業しやすい環境づくりを進めます。						
数値目標 ②	項目	産業支援センターへの相談件数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	686 件	690 件	695 件	700 件	
	実績	681 件	1,147 件	1,405 件	582 件	—	
	評価	—	S	S	E	—	
今後の方針	「DX担当」の配置や「副業人材活用支援」を行い、事業所の経営課題や事業成長課題などの解決や支援を行うとともに、創業をめざす人々への情報提供にも取り組みます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	中心市街地営業店舗数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	238 件	239 件	241 件	242 件	
	実績	237 件	237 件	232 件	231 件	—	
	評価	—	E	E	E	—	
	今後の方針	引き続き中心商店街の活性化に取り組む事業に対し支援を行うとともに、商店街振興と中心市街地活性化に有用な情報収集と発信を行います。					

関係課
商工政策課

3. 活力ある産業 ⑤企業誘致・連携の推進

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和4年度 実行宣言			
<p>新たな産業用地の確保を進めるとともに、市内事業者のカーボンニュートラルに向けた取組を支援します。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>「企業立地件数」及び「市内事業者に対する連携支援件数」は、いずれも目標値を上回りました。また、それらのバロメーター的指標である「企業等訪問延べ件数」もコロナ禍の影響が残る中330社、と目標の400社に対して82.5%まで引き上げることができました。これらは昨年度に引き続きリモートによる面談やハンズオン支援を積極的に取り組んできたことによるものと考えます。 新たな産業用地整備(ウッドピア松阪北地区)については、必要な法令手続きを進め整備計画が策定できたことから、今後の企業誘致活動の進展に寄与するものと考えます。また、中小企業の省エネ最適化診断数は14件と目標値を超え、カーボンニュートラルの促進にもつながったことから、全体として星4つの評価としました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>新たな産業用地の整備を着実に進めるとともに、中小企業の子育て支援を促進させる取組や公民連携のための情報収集、調整機能の強化を進めます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	企業立地件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	4 件	6 件	9 件	12 件	
	実績	3 件	7 件	9 件	12 件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	企業情報の収集、及び産業用地情報の発信に努め、市内への新規企業進出、及び市内企業の再投資を促進します。					
数値目標 ②	項目	市内事業者に対する連携支援件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	12 件	22 件	32 件	40 件	
	実績	11 件	23 件	35 件	45 件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	企業が直面する課題について、個社の実態をていねいに聞き取り、最適な連携を提案します。					

関係所属
企業誘致連携課

3. 活力ある産業 ⑥観光・交流の振興

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和4年度 実行宣言			
<p>新型コロナウイルス感染症拡大収束後を見据えた「アフターコロナ観光促進事業」等により観光入込客数の増加をめざしコロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に努めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>アフターコロナ観光促進事業として取り組んだ各種キャンペーンや誘客イベント、プロモーションにおいては、目標としていた参加者数や個別の活動指標が大幅に上回るものがあり、回復傾向にある観光需要から求められる観光客のニーズに対し、的確に対応できたものと考えます。</p> <p>一方目標値をコロナ前の入込客数等との比較としている施策の進捗状況においては、完全な需要回復には至ってない状況から目標達成とはなりませんでしたが、対前年比を目標に設定していた個別の9事業については8事業が97%以上(A評価以上)の達成度となりました。また、インバウンド関連の事業についてはいずれも50%以下の達成度となりました。</p> <p>これらはコロナ禍の影響によりインバウンド需要は伸び悩んだものの、国内需要は確実に回復していることを示していますが、それら回復している需要にはおおむね目標どおりの対応ができたことから、全体として星3つの評価としました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>「ポストコロナ観光促進事業」を軸に観光入込客数等の増加につなげるとともに、公民連携に資する民間事業者等との連携・協働による事業を積極的に進め、中山間地区も含めた広域的な観光産業の活性化に努めます。また、ポストコロナ時代の新しい観光需要や観光客層の掘り起こしを進めるため、みえ松阪マラソンとの連携や先進地の情報収集にも取り組みます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	102 %	105 %	108 %	110 %	
	実績	100 %	77 %	67 %	83 %	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	旅行者が安心して、松阪の歴史・文化に触れ、食を満喫し、自然を体験できる環境を提供するため、受入体制の整備や観光資源の磨き上げなどに取り組むとともに、旅先に選ばれるようPRIに努めます。						
数値目標 ②	項目	観光消費額(推計)増減率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	102 %	105 %	108 %	110 %	
	実績	100 %	45 %	51 %	69 %	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	国内の旅行者数はほぼ回復するものとみており、国内・県内・市内観光で松阪を訪れていただけのような仕組みづくりを、観光事業者やみえ松阪マラソン等と連携し取り組みます。なお、令和4年度実績については、三重県観光統計数値が未発表のため前年度の数値を用いています。(発表後修正)						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	モニタリング対象宿泊施設宿泊者数増減率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	101 %	102 %	103 %	105 %	
	実績	100 %	73 %	82 %	97 %	—	
	評価	—	E	E	E	—	
	今後の方針	インバウンドも回復するものと見込まれ、国内外の旅行者に松阪を選んでもらうため、付加価値を付けた事業を推進します。					

関係所属
観光交流課

3. 活力ある産業 ⑦松阪牛・地域ブランドの振興

評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一		
令和4年度 実行宣言			
<p>ふるさと納税返礼品の拡充と効果的なWeb広告を展開し、目標寄附金額20億円を目指して取り組みます。また、松阪牛ブランドの名声を高めるため、「松阪牛まつり」の開催やSNSを活用したPRを図ります。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>・寄附者ニーズを捉えた返礼品の拡充や申込みサイトの追加のほか、ターゲティング広告を展開し前年度実績を上回りましたが、目標の20億円を達成することができませんでした。 ・第71回松阪肉牛共進会を中心とした「松阪牛まつり」を3年ぶりに開催し、目標を上回る来場者で松阪牛をPRすることができました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>・ふるさと納税の返礼品事業者とともに寄附者の生活や趣味に合う魅力ある返礼品の研究と拡充を進めます。また、申込サイトの販促期間と秋以降においてWeb広告を重点的に実施し、寄附金額20億円をめざします。 ・「松阪牛まつり」の開催をはじめ、松阪牛関連のホームページのリニューアルや、SNSによる情報発信を行い、更なる松阪牛のPRを図ります。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	ふるさと応援寄附金の額				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	15 億円	20 億円	20 億円	20 億円	
	実績	11.71 億円	12.87 億円	13.77 億円	14.80 億円	—	
	評価	—	D	E	D	—	
	今後の方針	寄附者のニーズを捉えた返礼品の拡充とともに、年末だけでなく年間を通じて寄附金の増収が図れるよう、より効果的なWeb広告を展開します。					
数値目標 ②	項目	ふるさと応援寄附金の返礼品として「松阪牛」を選ばれた方の人数				目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	30,000 人	33,000 人	34,000 人	35,000 人	
	実績	20,366 人	32,297 人	41,090 人	49,074 人	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	世界のブランド松阪牛をホームページやSNSなどで全国へ発信し、販路拡大と産業振興につなげていきます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率				目標種別	→
	評価者	農林水産担当理事 砂子 祐一					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	30%	30%	30%	30%	
	実績	30%	—	31.7%	36.2%	—	
	評価	—	—	S	S	—	
	今後の方針	品評会の入賞による松阪茶の名声向上と松阪茶グランプリの開催などによるPRを進めます。					

関係所属
地域ブランド課、農水振興課

3. 活力ある産業 ⑧雇用・勤労者福祉の充実

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和4年度 実行宣言			
<p>障がい者雇用促進のためハローワークや関係機関との連携をさらに強化し、ニーズに合った情報提供や相談、環境整備などに取り組むなど効果的な周知啓発事業を展開し法定雇用率達成をめざします。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>施策の進捗状況である「高校生の地元就職率」「就労の広場からつながった就職者数」及び勤労者全般、高齢者、若者など各層への個別事業の活動指標は、それぞれ前年より数値が上昇しすべてA評価以上となっています。これは令和4年度も含めいずれもこれまで地道に継続してきた取組の効果がでてきているものと思われま。特に南三重地域若者地元定着推進事業においてはマッチング支援サイト事業所掲載件数が目標値220件に対し224件と上回り、支援サイトの基盤がしっかり構築されたことが伺えることから、今後は県外・地元の就職生への周知や活用に注力することが必要と考えます。</p> <p>一方、「障がい者雇用率」は2.12%で前年度と同数値となり、法定雇用率を達成することができませんでした。これは、本社移転や従業員数が減少したことにより、障がい者雇用優良事業所が雇用率の算定から外れたことによる減少分が影響したもので、指標のしくみからくるものと考えます。個別の数値として未達成企業から達成となった企業が10社増となっており、これは例年行っているハローワークや関係機関等との連携による企業訪問、表彰制度、就職面接会に加え、令和4年度には新たに現地見学会を実施するなど継続した取組の効果がでてきているものと考えます。</p> <p>全体的にはこれまで積み重ねてきた取組により、雇用・勤労者福祉の充実が進んでいる状況ですが、実行宣言の法定雇用率が未達成であったことから星二つの評価としました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>障がい者雇用促進のためハローワーク等とのこれまでの連携を継続するとともに、公民連携による民間事業者との協働も視野に入れ、新たな取組を進めることで障がい者ゼロ雇用の事業者を減らすよう努めます。また、南三重地域若者地元定着推進事業においては求職者を増やす取組を南三重地域の市町とともに取り組んでいきます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	高校生の地元就職率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	H26-30平均(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	41.3 %	41.9 %	42.5 %	43.0 %	
	実績	40.7 %	41.7 %	43.5 %	45.2 %	—	
	評価	—	S	S	S	—	
今後の方針	就職を希望する高校生の地元就職の促進資料として、地元の求人予定企業の紹介ガイドブック「企業案内」を作成し、松阪管内及びその周辺の高等学校等へ配布する取組を行います。						
数値目標 ②	項目	障がい者雇用率				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.20 %	2.30 %	2.30 %	2.30 %	
	実績	1.97 %	2.08 %	2.12 %	2.12 %	—	
	評価	—	D	D	D	—	
今後の方針	事業者及び市民に対して障がい者雇用の機運を醸成するとともに、障がい者の職業的自立を支援するために、ハローワーク等の関係機関と連携し、障がい者雇用の促進を図る事業に取り組みます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	就労の広場からつながった就職者数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	37 人/年	38 人/年	39 人/年	40 人/年	
	実績	36 人/年	34 人/年	42 人/年	46 人/年	—	
	評価	—	E	S	S	—	
今後の方針	ハローワークや福祉関連の部署等と連携し、相談者に寄り添った支援を行い、1人でも多くの相談者が就労に繋げられるよう取組を進めます。						

関係所属
商工政策課